

Minami Kyushu Junior College Syllabus						
科目名称	メディア・リテラシー演習					英語コミュニケーション ( ) 留 学 ( ) ビジネス・キャリア (○) ホテル・観光 (○) オフィス情報 (○) 医療事務・医療秘書 (○) スポーツ健康 (○) 大学編入 (○) グローバル (○)
英文科目名称	Media Literacy Seminar					
科目コード	590075	授業形態	演習	単位数	2	
教員氏名	有馬 明雄		年次配当	1年次	後期	
授業概要及び 授業方法	まず、スマホで「宮崎インターネット新聞」を検索してほしい。 このHP(ホームページ)で、当ゼミは、インターネット新聞を発行する。 人間の知的活動はimaginationによるcreation。アクティブラーニングの中身を知れば、楽しく易しく逞しく成長できるだろうことが分かる。自分で考え、自分で行動し、そのトレーニングの積み重ねで企画力、行動力、文章力、コミュニケーション能力を高めていく。					
関連する科目	日本語言語表現		学習成果との関係		① ②	
授業計画	1. 演習の概要を説明。ゼミ生を「新聞」に接続し、システムを構築し、試運転 2. 新聞や直近の情報誌等を持参。記事のコピーとHPアップトレーニング 3. 新聞や直近の情報誌等を持参。記事のコピーとHPアップトレーニング 4. 取材計画の作成要領、記事紙面づくり等について(やってみせて編) 5. 取材計画の作成要領、記事紙面づくり等について(やらせてみて編) 6. 取材計画の作成要領、記事紙面づくり等についてグループでディスカッション 7. 情報リテラシーセミナー(情報化Ⅰ)の開催、グループでディスカッション 8. 情報リテラシーセミナー(地域コミュニティ)の開催、グループでディスカッション 9. 情報リテラシーセミナー(環境問題Ⅰ)の開催、グループでディスカッション 10. 情報リテラシーセミナー(行政広報の実際)の開催、グループでディスカッション 11. 情報リテラシーセミナー(情報化Ⅱ)の開催、グループでディスカッション 12. 情報リテラシーセミナー(防災問題Ⅰ)の開催、グループでディスカッション 13. 情報リテラシーセミナー(環境問題Ⅱ)の開催、グループでディスカッション 14. 情報リテラシーセミナー(防災問題Ⅱ)の開催、グループでディスカッション 15. 演習総括。アクティブラーニングの成果等についてグループでディスカッション					
授業時間外の学習	新聞作成に必要な能力を高めるために新聞を読み、プロの記事のコピー訓練や、情報誌等の面白いネタをチェックしておくなど、普段から「自分は新聞記者である」ことを自覚する。					
授業の到達目標	主に時事問題等について、自分で考え、周囲とディスカッションし、自分で判断し、自分の記事を書き、入稿するという、一連の、社会人として必要な能力を身に付ける。					
課題に対する フィードバック	期末試験終了後に解説を行う。			評価方法	入稿記事を基本に評価する。 評価基準は到達目標に基づく。	
テキスト	講師で用意するWEBのHP(ホームページ)					
参考書	各種新聞、情報誌等					
備考	特になし					